

第14回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和7年6月30日（月）10：30～

場所：勤労者福祉センター 5階体育集会室

1. 議事

- (1) これまでの経緯、最新の利用状況について
- (2) 令和7年度の支線バス導入について
- (3) トータルデザインについて
- (4) その他
 - ①都心の運賃適正化について
 - ②国への申請手続きについて
 - ③今後のスケジュール

2. 委員からの主な意見

- (1) これまでの経緯、最新の利用状況について ⇒意見なし

- (2) 令和7年度の支線バス導入について

	意見等
岡山県警察本部	• 狭い道路箇所もあるので、安全対策や安全運転をお願いしたい。
岡山市の回答	• 警察を始め、関係機関と相談しながら、安全対策の実施や安全な運行に努めてまいりたい。

- (3) トータルデザインについて

神田教授	• バス停のデザインは、利用者にとって見やすいだけでなく、運転手にとっても見やすいものになるようご配慮いただきたい。
------	--

- (4) その他

- ①都心の運賃適正化について

宇野自動車	• 赤字が減らない状況でありながら、コストについて十分な協議がされていない。回送距離の削減等、コストを下げる努力をしていく必要がある。
岡山市の回答	• 各事業者が各々コスト削減に取り組んでいただいていると思うので、分科会で取り上げていただき、良いものは各社が取り入れていただければよいと思う。 • 利用者にばかり負担をかけるのではなく、削れるところはしっかりと削り、より良いものになるように協議していきたい。 • 一方で、バス業界は賃金が低く、運転手の採用が難しいことも課題となっており、このことも踏まえてコスト削減に取り組む必要がある。
宇野自動車	• 乗務員の賃金を上げるためにも、付帯コストを削減することは重要。
交通運輸産業労働組合協議会	• 運賃を160円へ上げたとしても、広島市の240円と比べかなり低い水準となっているため、乗務員の賃金を上げるためにも、さらなる運賃適正化は必要。
神田教授	• 運賃体系が多様化している中で、都度利用と定期券という2つの運賃体系に縛られるのではなく、収入を確保しながら人の動きを活性化させる運賃体系となるよう、今後、協議会で検討していただきたい。

②国への申請手続きについて ⇒意見なし

③今後のスケジュール ⇒意見なし

(5) 全体を通しての意見

阿部会長	<ul style="list-style-type: none">•パブリックコメントでいただいた意見を地域に返していき、住民を巻き込んだ需要の喚起を図っていく必要がある。•車からバスへの転換を進めるためには、今回の市の施策は素晴らしいと思うが、まだ十分に使われていないので、市民に対し、より一層周知していただきたい。
岡山市の回答	<ul style="list-style-type: none">•利用者が少ないのは、沿線の方々にとって公共交通に乗るという習慣がないことも原因と考えられる。•市からも様々な形で広報を行っていくが、バス事業者をはじめ皆さまにも積極的に広報をお願いしたい。•収支率が35%以上になった場合、バス事業者に一定のインセンティブがなければモチベーションの向上に繋がらないため、このことも今後検討していきたい。